

景観保全の取り組みと観光客の関係

要旨本文

日本には歴史ある町並みを有する地域が多く存在する。その中でも特に価値のある歴史的な町並みを有する地域は重要伝統的建造物群保存地区に選定される。選定された地域は様々な修理・修景事業が実施される。このように景観保全が施されている地域は、観光入込客数が増加するののかについて、本稿で調査する。本稿では、重要伝統的建造物群保存地区に選定された川越市と日田市豆田町を調査地とする。とも景観保全事業施されていくにつれ、観光入込客数が増加していることがデータや資料をもとに明らかとなった。また、川越と豆田町の共通点を見つけ出し、他の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている地域にも同様の関係があることがわかった。これらのことから、景観保全されている地域は観光入込客数が増加していると言える。